

<事業所全体による自己評価> R2.11.14実施

志免happiness

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
15・16	<ul style="list-style-type: none"> ・「わからない」が多い。 ・すぐに改善できることから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から事業所に帰りつく時間が遅く、時間的に実施できない。 ・入園にしおりに避難について記載し、入園時にご説明しているが、覚えていない方が多いか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・長時間療育時に避難訓練を実施する。 ・保護者には定期的に確認していく。 	R3.3月	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムにて実施を周知 また、実施済み
10(職員アンケートは20)	<ul style="list-style-type: none"> ・「どちらとも言えない」が多い。 ・すぐに改善できることから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、保護者を通して、受診時に主治医に確認していただいている。 ・主治医との直接のカンファレンス等は、よっぽどでないといけないことが多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、必要に応じて、保護者を通して、受診時に主治医に確認する。 ・必要な場合はカンファレンスを申し入れる。 	R3.9月	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な子は、保護者を通じて連携を図っている
1・2	<ul style="list-style-type: none"> 「いいえ」などが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設であるため、できることは限られており、できる限りその都度対応している。 ・人員については、社長・センター長に常々お願いしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部屋の使い方については、職員や保護者の意見をいただきながら、その都度対応していく。 ・人員については、社長・センター長に対応していただく。 	R3.3月	<ul style="list-style-type: none"> ・人員については、代表・センター長に対応を要請している